

会 議 録

会 議 録	山陽小野田市高齢者保健福祉推進会議		
開 催 日 時	平成 22 年 3 月 18 日（木）午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分		
開 催 場 所	山陽小野田市役所 本庁舎 3 階 大会議室		
出 席 者	山口県作業療法士会 青木久美子、市 民 代 表 麻野美智子 山陽小野田市小野田歯科医師会 伊 藤 基 生、市 民 代 表 岩 本 孝 子 山陽小野田市社会福祉協議会 岡 本 志 俊、山口県看護協会小野田支部 沖田真知子 山陽小野田市民生児童委員協議会 河 口 軍 紀、山口県薬剤師会厚狭支部 河 村 典 子 小野田在宅介護者の会とらいぼっど 佐 伯 友 枝、山口県理学療法士会 永 池 博 己 山陽小野田市地域包括支援センター運営協議会 中 島 嘉 哉、山陽小野田市老人クラブ連合会 平 田 武 山陽ボランティア連絡協議会 水 田 愛 子、学識経験者（宇部フロンティア大学） 溝 田 順 子 小 野 田 市 医 師 会 森 田 純 一、養護老人ホーム小野田老人ホーム 山 崎 照 代		
欠 席 者	小野田薬剤師会 栗屋健二郎 特別養護老人ホームサンライフ山陽 石 島 智 認知症高齢者を支える家族の集い 井上ヒロ子 厚狭郡医師会 河村芳高 小野田ボランティア連絡協議会 銭谷繁子 厚狭歯科医師会 野村忠正		委 員 数 2 2 人 出 席 者 数 1 6 人 欠 席 者 数 6 人
事務担当課 及び職員	山陽小野田市長 白井 博文 高齢障害課長 堀本正春、介護保険係主査 中林照行、 介護保険係主任 古屋憲太郎、高齢福祉係主査 辻永民憲、 地域包括支援センター所長 尾山貴子、地域包括支援センター主事 野原崇史、		
会 議 次 第	1 市長あいさつ 2 会長あいさつ 3 議 題 (1)事業の実施状況について ア 福祉関係について イ 介護保険関係について 4 その他		
会 議 結 果	1 について 市長があいさつを行う。 2 について 会長があいさつを行う。 3 について		

(1) 事業の実施状況について

ア 福祉関係について

事務局が説明を行う。

質疑応答は次の通り。

市長：福祉関係の表について、平成 19・20・21 年度で少しずつ数が減ってきているのはなぜか。

事務局：例えば、65 歳以上の人口が増える中、老人クラブの数が減ってきているのは、老人クラブ連合会の事務局に問い合わせしたところ、各クラブの会長のなり手がなくて、急遽クラブが解散するケースがあると聞いている。友愛訪問事業なども老人クラブ連合会に委託しているが、クラブの減少に伴い、事業を展開している数も減っている。クラブを増やす必要があると考えている。また、P5 の緊急時短期入所サービス事業や生きがい対応型デイサービスなどは平成 19 年度は必要な人が多かったと聞いている。また、P4 の家族介護者交流事業は介護される人を自宅に残して介護する人が外に出るのは難しいのではと考えている。また、平成 18 年度に介護保険の改正があり、新たに要支援 1・2 という区分ができた。今まで非該当であった人が、要支援 1 になりやすくなった面があり、介護保険のサービスに移行した人も多い。施設入浴サービスの利用などが下がっているが、介護保険のサービス内容の改正で、ケア・サービス等の短時間利用でも入浴が出来るようになり、介護保険のサービス内で対応が可能になっている。介護保険のサービス内容の移行による数字の減少も考えられる。

委員：給食サービスも数字が減っているようだが、高齢者の人が高齢で一人では食事が出来なくなっているから減っているのか。

事務局：民間業者で配食サービスを行なっている所が増えており、月曜日から土曜日の昼と夜に対応している所もある。また、利用者の好みなどもあり、民間業者に移行しているケースもある。

委員：ふれあい型の弁当作成に少し手伝いでいくが、山陽地区は数が減ってきている状況である。また、いきいき介護サポーターだが、登録事業所の数はもっと増やすことはできないのか。

事務局：ふれあい型の給食サービスは、山陽地区の数は減少しているが、小野田地区では少しずつ増加してきている。昨年の 10 月から始まった事業で、事業所説明には行っているが、事業所の中には事務処理などに戸惑いを感じているところもある。登録者は約 70 名だが、市としては 200 名を予定している。現在事業所は 12 施設の登録に留まっている。

委員：隣接した市の施設も登録は出来ないものか。施設内にも山陽小野田市内の人も多く入っているので対応できないものか。

事務局：現在は山陽小野田市内の施設と考えている。また、他の市もこういった事業を行なう場合は連携も踏まえて検討していきたい。

委員：特定高齢者の把握の仕方はどのようになっているのか。

事務局：把握の仕方として、生活機能評価という検診を行なう。25 項目の質問がある基本チェックリストがあり、そのどこにチェックが入るかで運動機能の向上や栄養改善が必要であるかなどが選定できるようになっている。そのあと医師の判断などを踏まえて生活機能検査の有無の結果が地域包括支援センターに戻ってきて、最終決定を行う。

委員：介護ボランティア制度で、私は認知症対応型デイサービスの所に、月 3 回ほど行ってお手伝いを行なっている。現場では人手が必要なところもある。そういった所には参加できる道はないのか。

事務局：もう一度比較的小さな施設にもお願いするよう検討してみる。

委員：特定高齢者の把握人数で 741 人と出ているが、通所型介護予防事業の参加人数が 19 人となっている。特定高齢者の決定者数に比べて事業に参加しているのが少ないようだが、どのように考えているか。

事務局：確かに決定者数に比べて事業参加者は少ない。参加への周知として、決定した人全員にチラシを発送している。それでも参加人数はなかなか伸び悩んでいたのもので、昨年度から全件は難しいが、何件か抽出して個別に訪問し勧誘を行なっている。職員の報告によると国の基準に基づいて特定高齢者の決定を行っているが、ほとんどの人が事業に参加する余裕がない位用事があって忙しいとの返答で、比較のお元気だったと聞いている。ただ、全件を回っての意見ではないので、引き続き個別の勧誘を行なっていきたい。

委員：国の基準による特定高齢者の選定に関して、チェックリストの質問は理解しにくいのもあり、間違えてチェックを入れるだけで、特定高齢者に該当してしまう。国も本当に必要な人が選定できるような項目を考える必要がある。

事務局：少人数だが、通所型介護予防事業を利用した人の感想や評価に関しては、自覚的に効果があったと聞いている。介護予防という取り組み事体が馴染んでいないだけで、参加してもらおうと、健康を感じ取れるのではないかと考えている。介護予防や特定高齢者という概念の普及が必要である。

委員：先ほどの件の老人クラブに関して、市からの補助金が人数割で出ている。50 人という基準で、補助金を減らしている経緯があり、単位クラブの支出が多くなって無くなるケースもある。また、生涯学習の面で考えれば、老人クラブ連合会にも加入していなくても生涯学習も出来るという考えから、単位クラブは存続しながら老人クラブ連合会を脱退するケースもある。

イ 介護保険関係について
事務局が説明を行う。

質疑応答は次の通り。

市長：P27の厚狭地区のベットの数で、合計は78床なのか。

事務局：老人保健施設が20床で、最終的な老人福祉施設は60床。認知症共同生活介護（グループホーム）が18床である。老人保健施設と老人福祉施設は療養病床からの転換になる。

市長：介護老人保健施設が20床、老人福祉施設は60床、認知症共同生活介護施設が18床。合計すると98床になる。

委員：資料の1-9で医療施設と介護保健施設と別々書いているが、医療施設には一般の人も受診可能なのか。

事務局：内科系の医療施設が入っており、ベット数は19床ある。

委員：P27の②の表1にある短期入所生活介護の18床は施設整備計画には入らないのか。

事務局：それも計画に含むので、合計で116床になる。

委員：病院のベット数を入れると、135床になる。

委員：これだけの施設が完成してもショートステイの利用率は変わらないのでは。年間予約をしている人が多く、急な対応が出来ない施設が多い。利用したい時に自由にショートステイが使えるようなシステムはできないものか。

事務局：施設から聞く話では、平日は部屋が空いているが、土日は利用希望者が多いので、部屋が満員になり、バランスを取るのが難しいと聞いている。

委員：ケアマネジャーから聞いた話では、ショートステイを頼まれるのが一番苦慮する。前もって計画を立てれば対応もしやすいが、緊急のときに難しいと聞いている。

委員：また、部屋が空いたらケアマネジャーに連絡してショートステイを利用する人もいる。やはり、急な対応になると難しいと聞いたことがある。

委員：医療も介護も同じだが、施設運営は満員の状態で運営する前提になっている。空きベットを用意して運営するのは厳しい状態でもある。

委員：あるグループホームは18床あるが、全員女性である。男性は少ない。グループホームを利用するのも、料金が14、5万必要という話しも聞いた事があるので、女性の少ない年金では入れないというのも認識していただきたい。

事務局：グループホームは在宅扱いになるので、介護保険施設より入所しやすい状況にはなっている。

(3) その他について

事務局：山陽小野田市のグループホームの防火安全対策について報告する。

	～ 高齢障害課長挨拶の後、閉会。 ～
--	--------------------